

かつしかごみ減量リサイクル推進協議会 第8回区民啓発活動部会結果  
 (開催日：平成27年1月27日)

第8回区民啓発活動部会では、平成26年度のごみ処理の現状を分析し、課題抽出を行いました。そのうえで、平成27年度の取り組みとして、「かつしかルール」、「ごみ減量の日」、「ごみ減量月間の実施」についての検討を行いました。

そして、今回の検討結果については2月23日に開催される推進協議会で提案していくことが確認されました。

## 1 葛飾区のごみ処理の現状について

### (1) 葛飾区のごみ減量目標値と実績

葛飾区では、平成32年度までのごみの減量目標として、「家庭ごみ」「事業系ごみ」「ごみと資源の総量」の3つの項目に達成すべき目標値を設けて計画を策定しています。

#### 【12月末までの家庭ごみ量の比較】

	H25.12 末 まで実績	H26.12 末 まで実績	減少量	前年比
燃やすごみ	61,793 t	60,581 t	-1,212 t	98.0 %
燃やさないごみ	2,787 t	2,773 t	-14 t	99.5 %
粗大ごみ	2,200 t	2,184 t	-16 t	99.3 %
計	66,780 t	65,538 t	-1,242 t	98.1 %

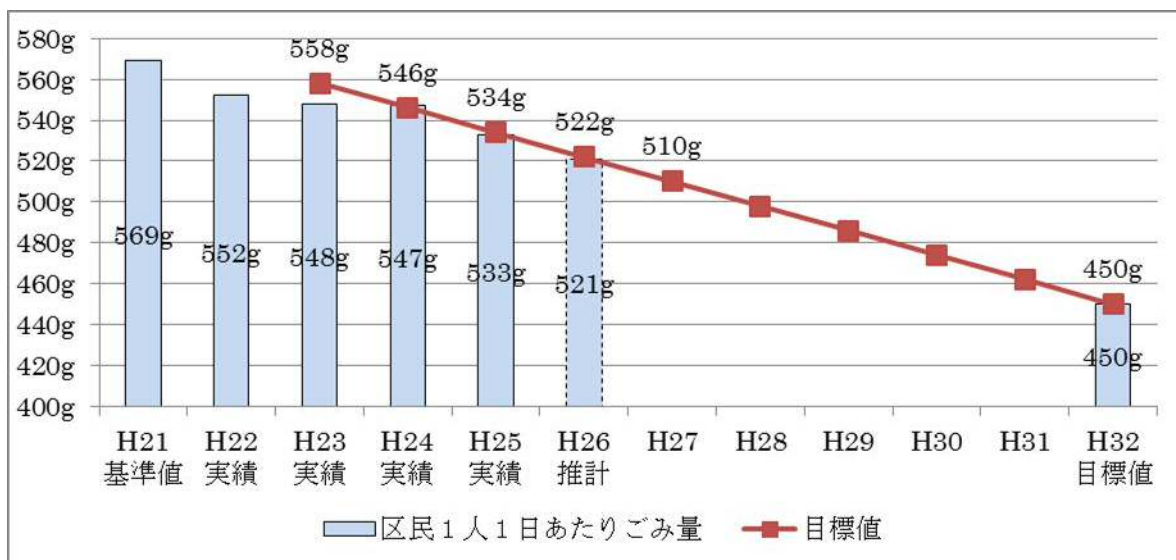
12月末現在のごみ量を比較すると、25年度に比べ26年度は-1,242 t (1.9%) の減量となります。「事業系ごみ量」「資源量」は未確定です。

#### ○目標1

**平成32年度までに区民1人1日あたりのごみ量を約20%(120g)削減します。**

区民1人1日あたりのごみ量は減少傾向です。26年度は昨年度に比べ12gの減少で、目標の522gに比べ521gと1g減となる見込みです。

#### 【区民1人1日あたりのごみ量】

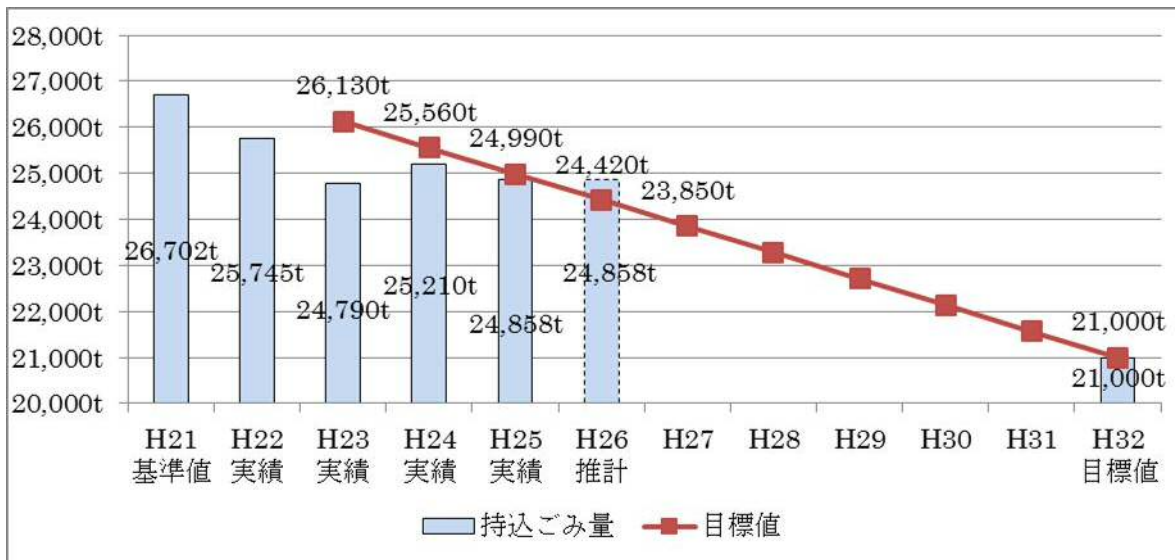


## ○目標2

### 平成32年度までに事業系ごみの年間総排出量を約20%(5,700t)削減します

26年度の事業系ごみ量はまだ未確定であるため、昨年度と同量としています。25年度まで年間総排出量は目標値を下回っています。

#### 【事業系ごみ年間総排出量】

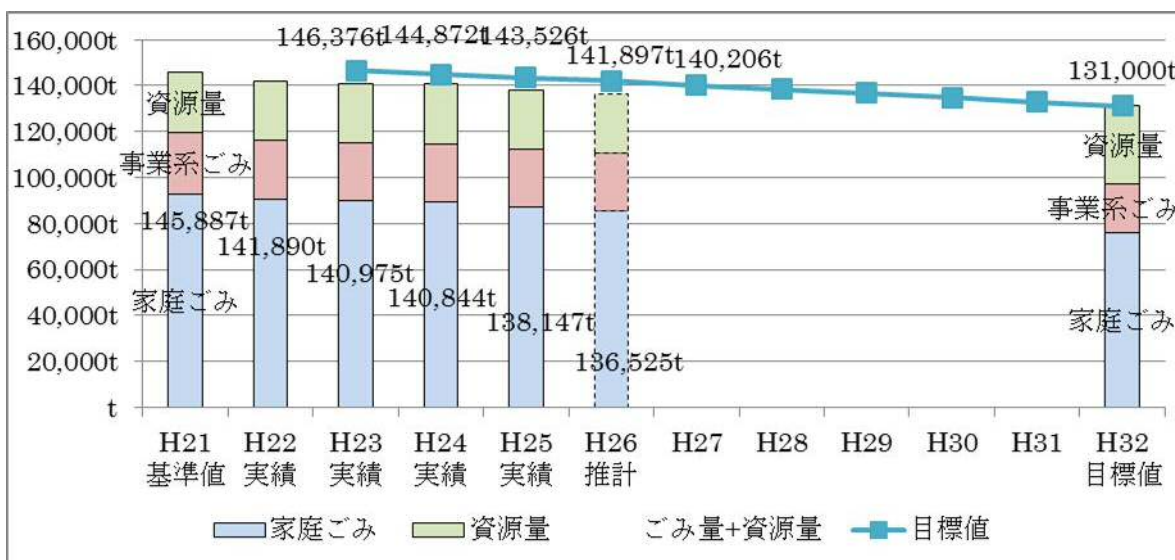


## ○目標3

### 平成32年度までにごみと資源の年間総排出量を約10%(15,000t)削減します。

26年度の事業系ごみ量と資源量はまだ未確定であるため、昨年度と同量としています。25年度まで年間総排出量は目標値を下回っています。

#### 【ごみと資源の年間排出量】

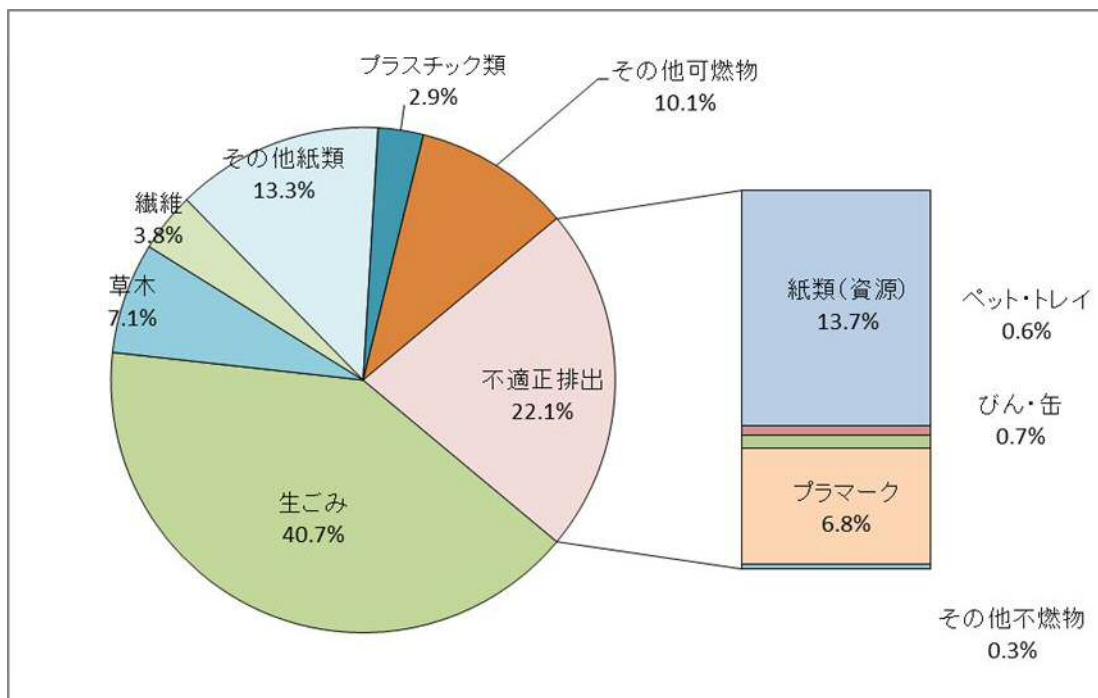


## (2) 燃やすごみの排出状況～葛飾区ごみ性状調査より～ 葛飾区のごみ

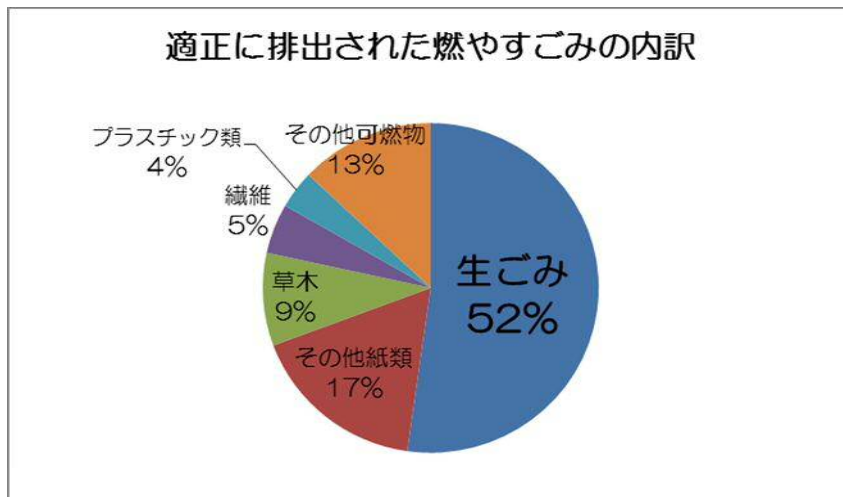
今年度実施した「葛飾区ごみ性状調査」では、平成24年度と比較して、適正に排出されたごみやプラマークの割合が減少しました。

適正排出割合			
種類	平成21年度	平成24年度	平成26年度
燃やすごみ	76.6%	82.2%	77.9%
燃やさないごみ	63.3%	80.5%	79.0%
プラマーク	61.1%	83.6%	80.9%

最も適正排出割合の低い「燃やすごみ」を例に内訳を見ると、主に紙類とプラマークが「資源」や「プラマーク」の日に排出されず、「燃やすごみ」として出されていることがわかります。



一方、適正に排出された「燃やすごみ」の多くを生ごみが占めています。



### (3) 各種調査にみる区民の意識

例年かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会が実施している「ごみ減量キャンペーン」での街頭アンケートに加えて平成26年度は、無作為に抽出された区民や事業者に対して、ごみの減量・リサイクルに関わるアンケート調査をおこないました。

#### ① ごみ減量キャンペーンでの街頭アンケート（毎年実施）

※葛飾区内の商店街やスーパーマーケット、駅前など13カ所で2,328名を対象に実施したごみ減量に関する意識調査

#### ② ごみ減量・リサイクルに関わる区民アンケート（今年度のみ実施）

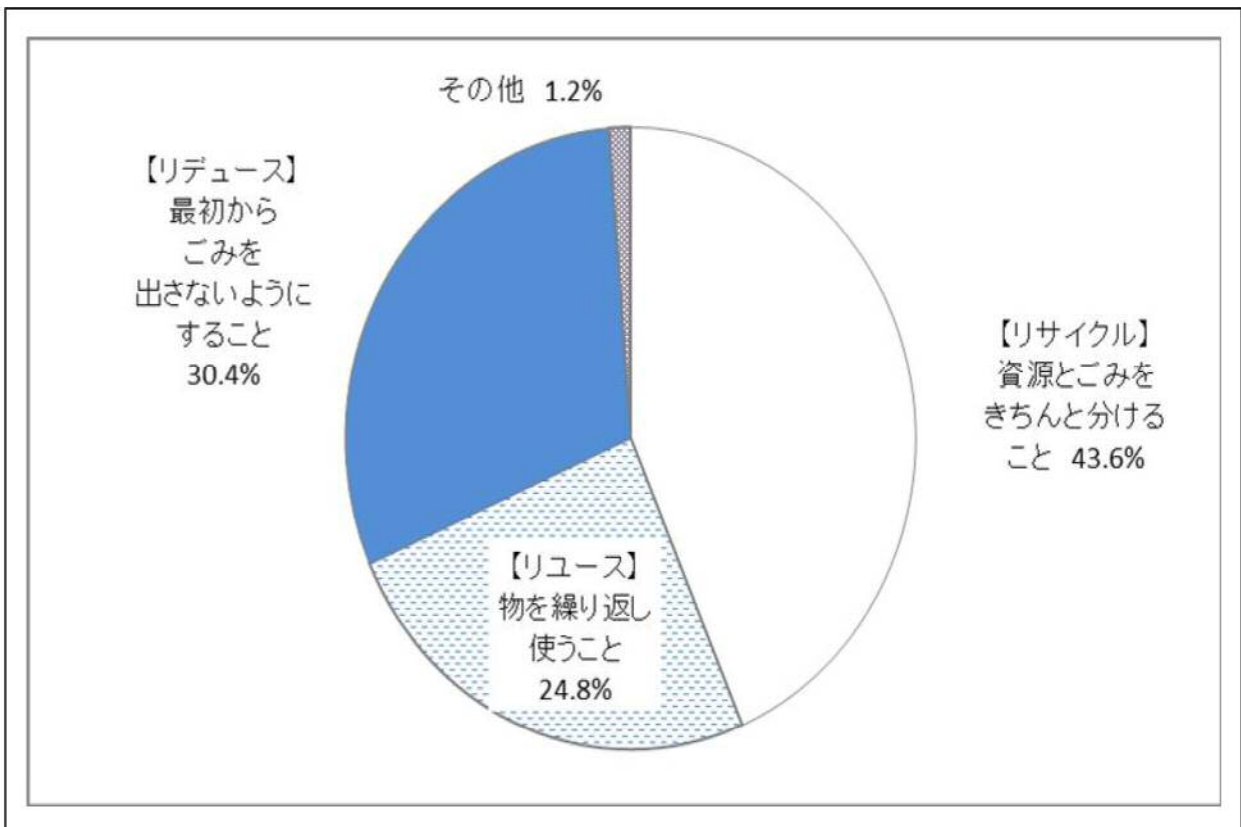
※葛飾区住民基本台帳等から無作為に抽出された3,000世帯を対象に実施したごみ減量・リサイクルに関わる意識調査

#### ③ ごみ減量・リサイクルに関わる事業者アンケート（今年度のみ実施）

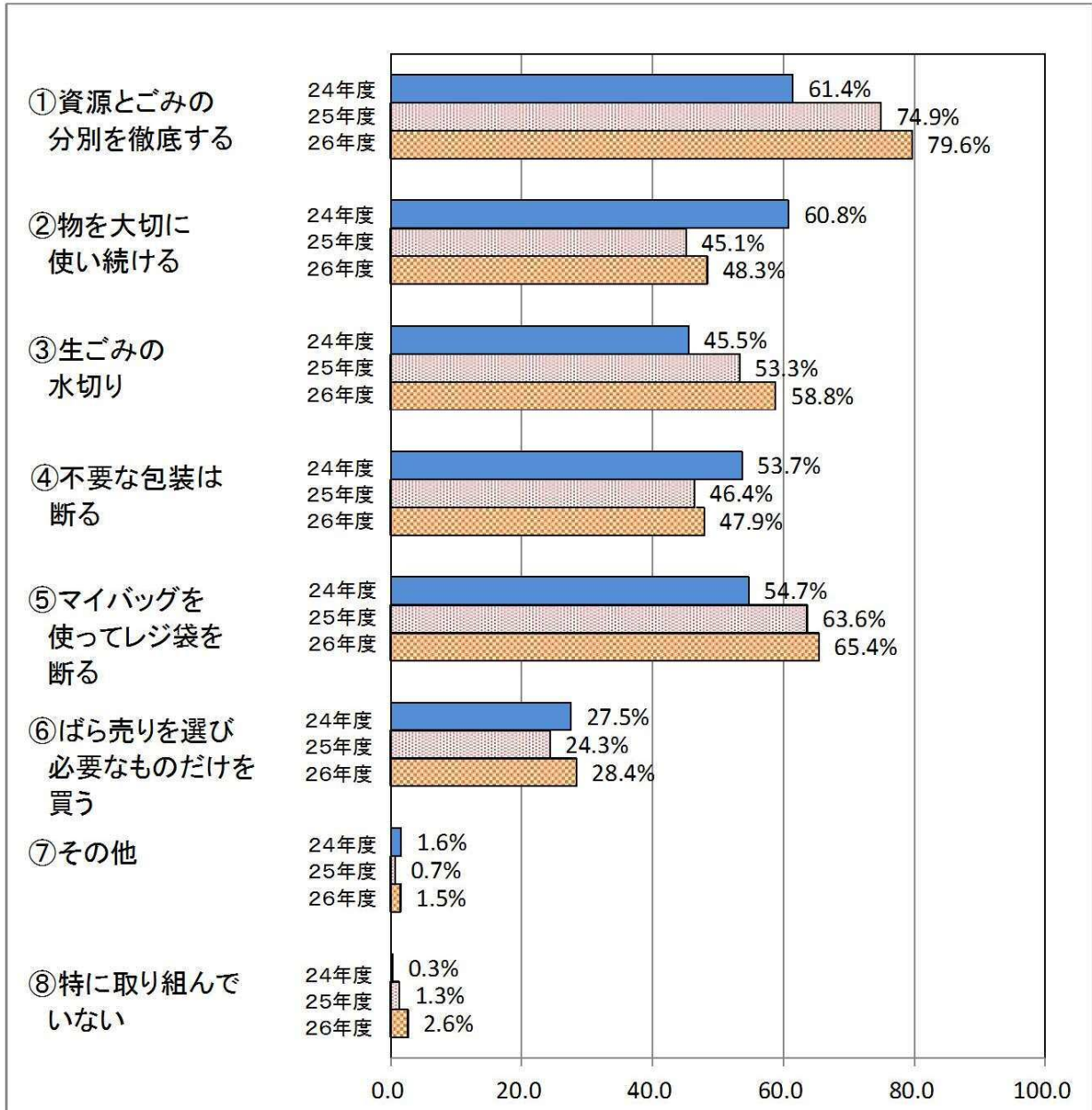
※NTTタウンページ事業所リストから業種ごとに抽出された3,100箇所を対象に実施したごみ減量・リサイクルに関わる意識調査

#### ① ごみ減量キャンペーンでの街頭アンケート

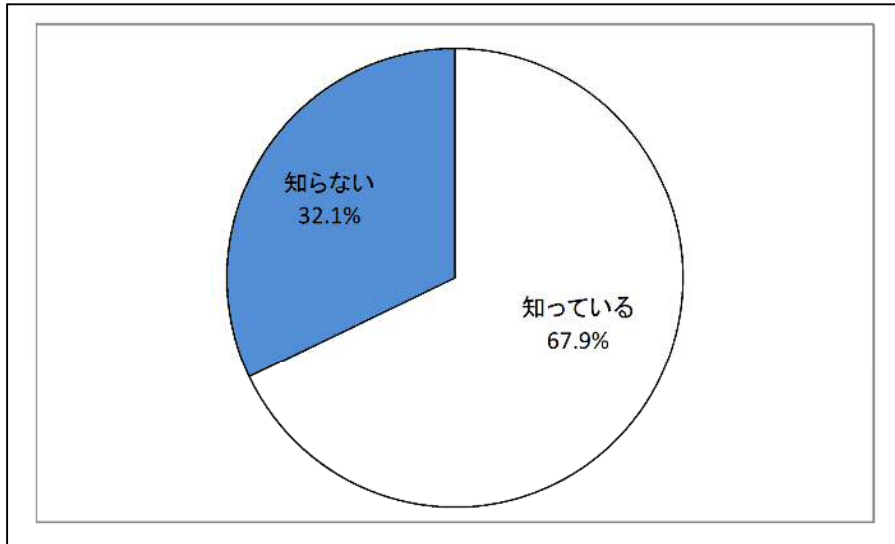
問1 ごみを減らすために一番大切なことはどれだと思いますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。（有効回答数 3,827）



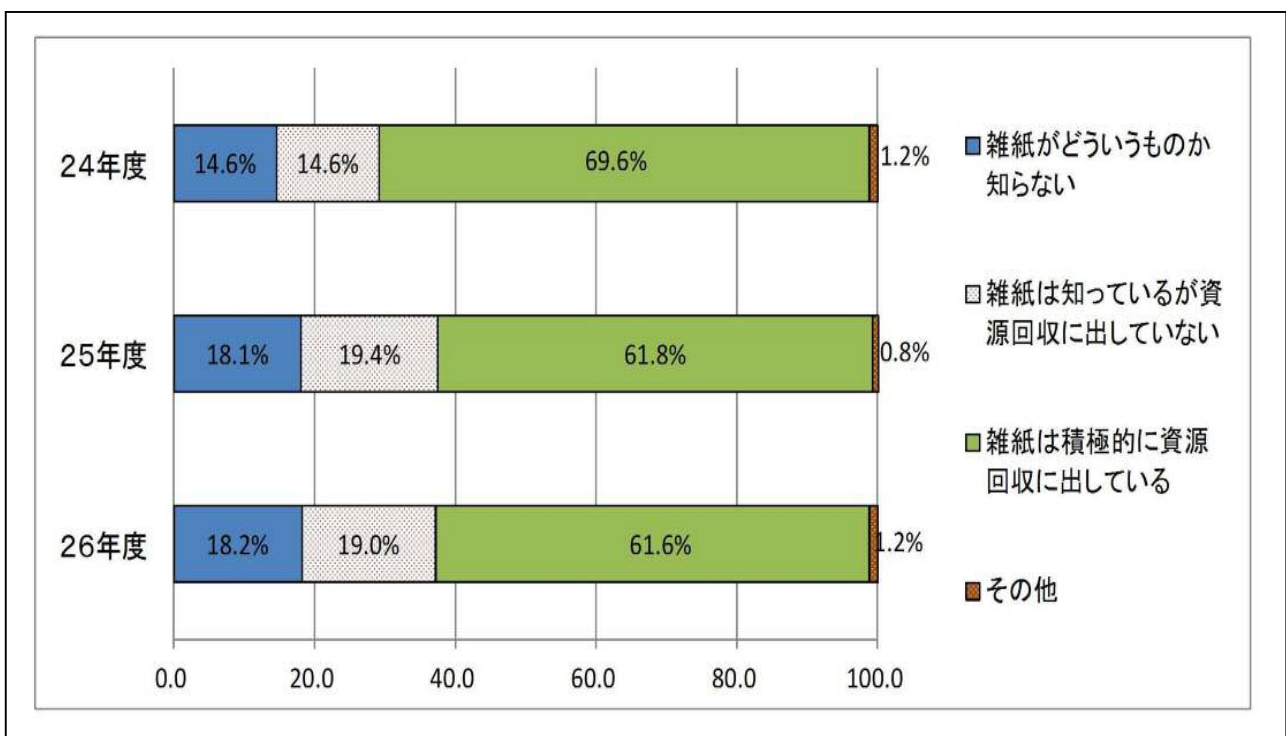
問2 あなたは、ごみを減らすために日頃から何か取り組んでいますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(有効回答数 7,739)



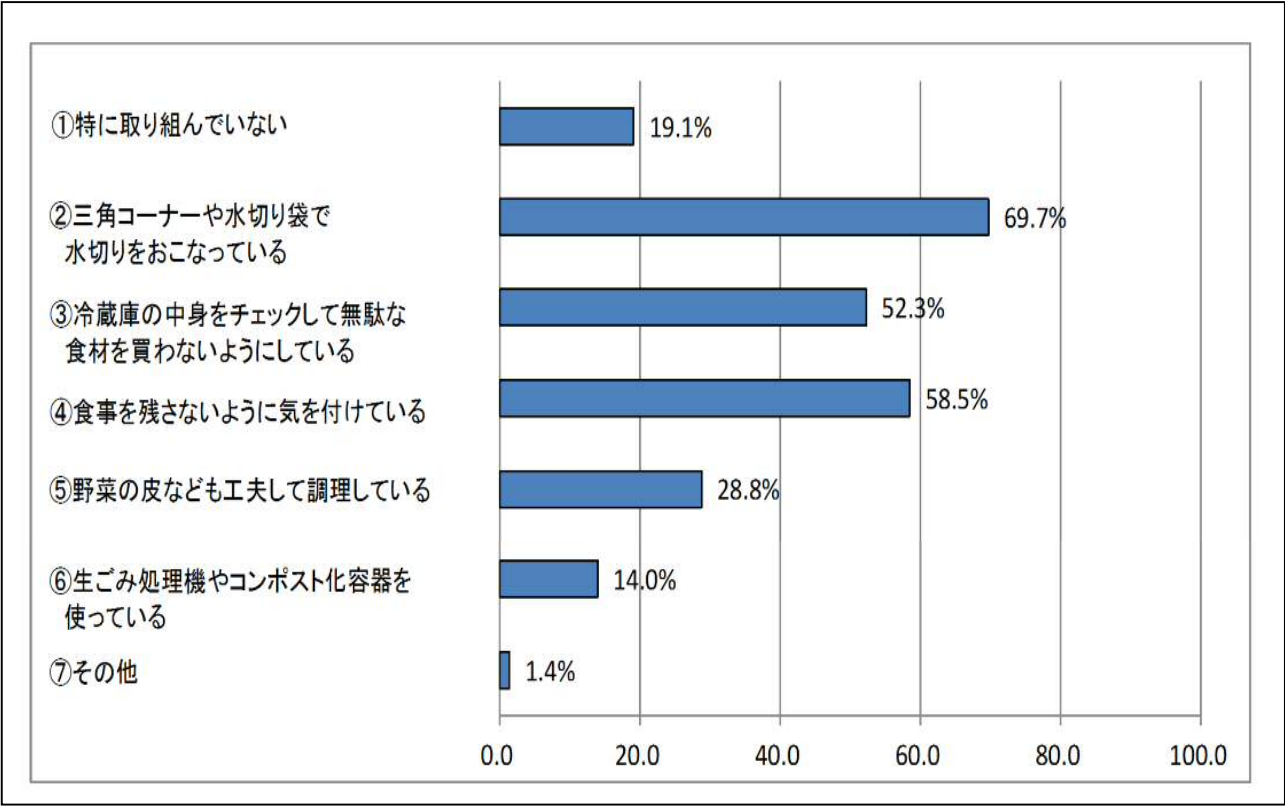
問3 かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、「ごみを減らすためにこれだけは実践しましょう」という取り組みを「かつしかルール」として呼び掛けています。「かつしかルール」をご存じですか。いずれか一つに○をしてください。(有効回答数 2,015)



問4 「かつしかルール」として、「雑紙（ざつがみ）の分別」を呼び掛けています。新聞・段ボール・雑誌・牛乳パックと同様に、リサイクルできる紙類である「雑紙（ざつがみ）」を資源回収に出していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(有効回答数 2,568)

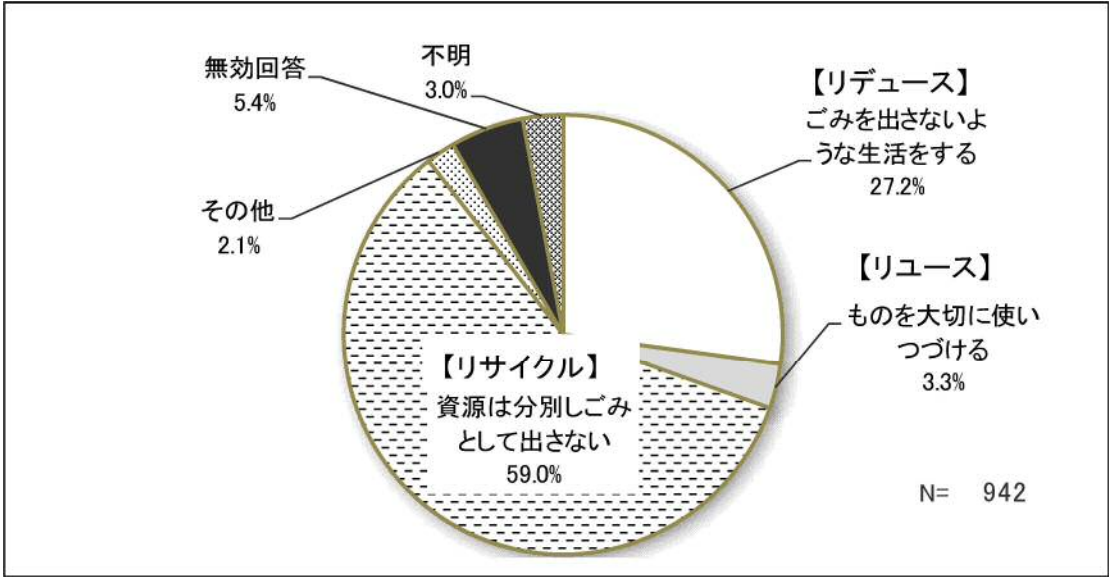


問5 「かつしかルール」として、「生ごみの減量」を呼び掛けています。日頃から生ごみの減量に取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(有効回答数 5,673)

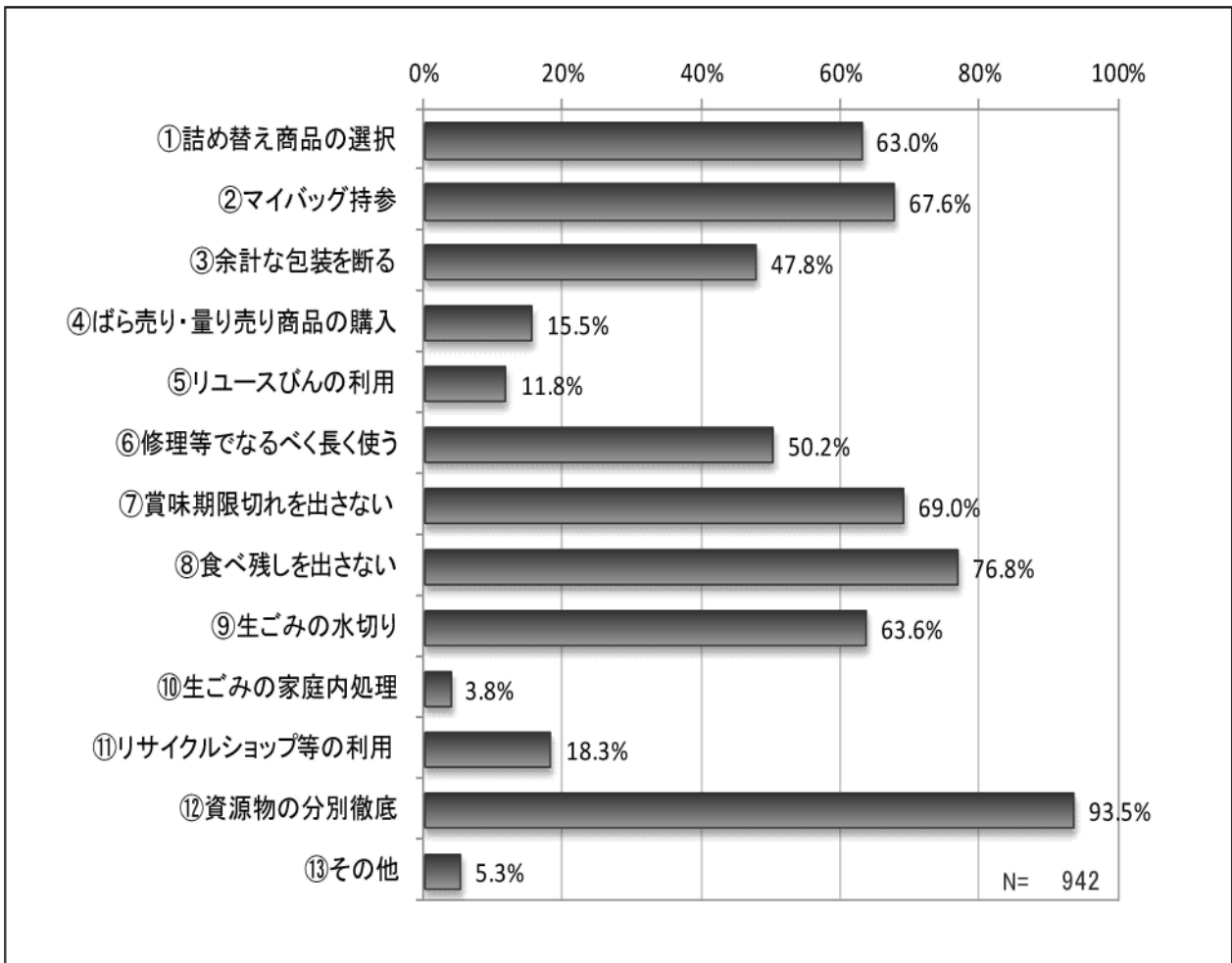


② ごみ減量・リサイクルに関わる区民アンケート（一部抜粋）

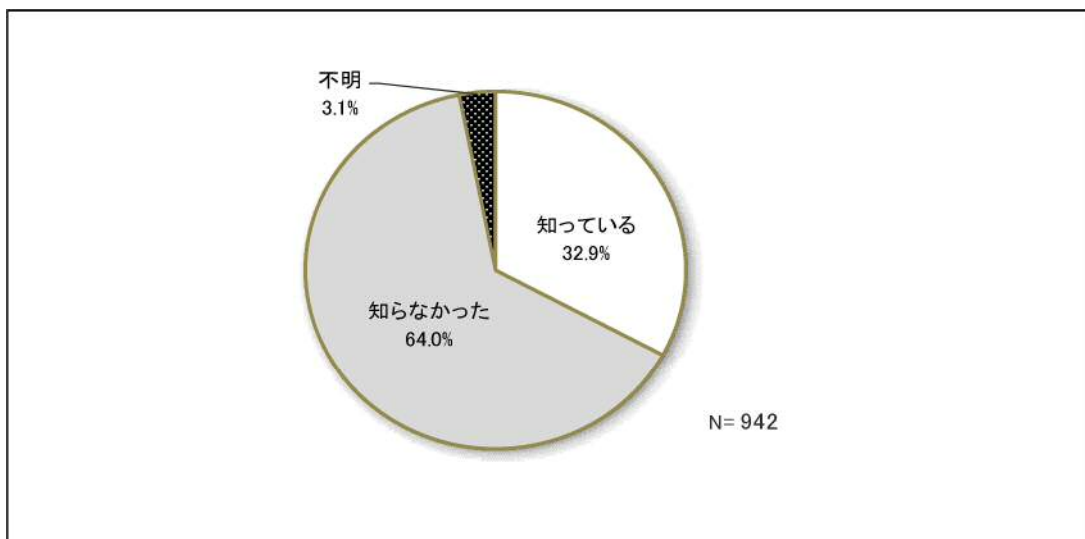
問1 あなたは、ごみ減量のために一番大切なことはどのようなことだと考えますか。(○は1つ) (有効回答数 942)



問2 あなたが、日頃ごみ減量のためにやっていることに○を付けてください。(○はいくつでも) (有効回答数 942)



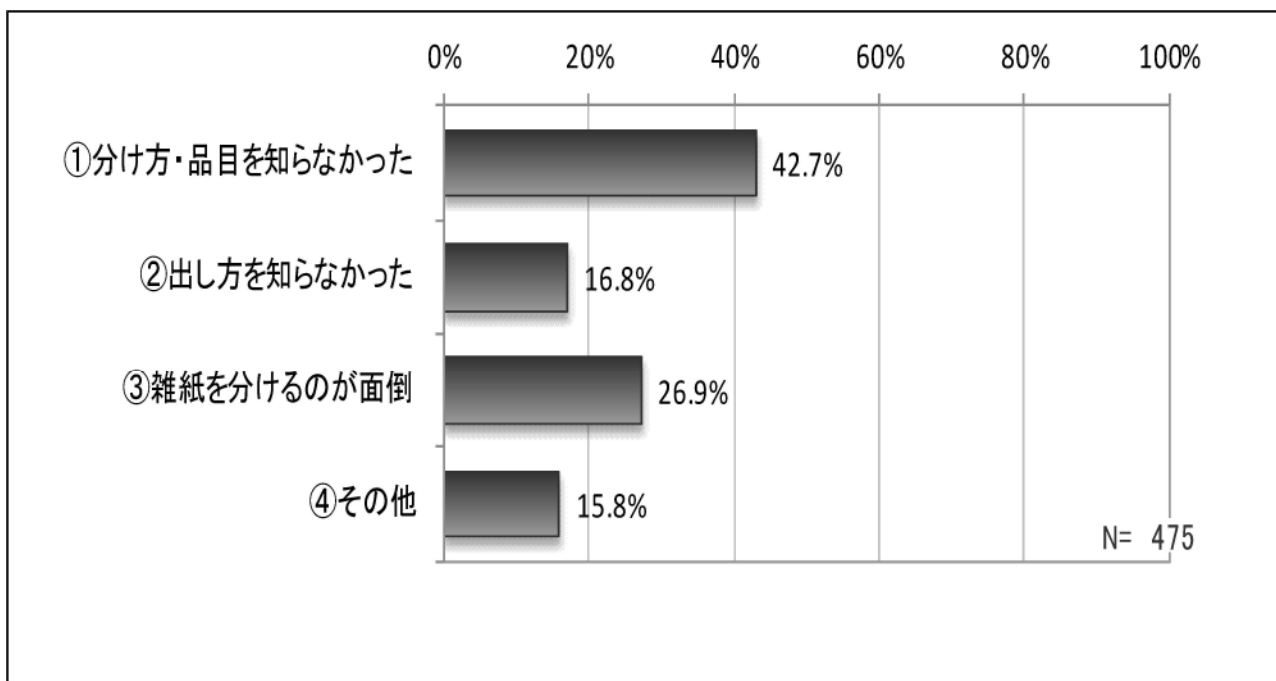
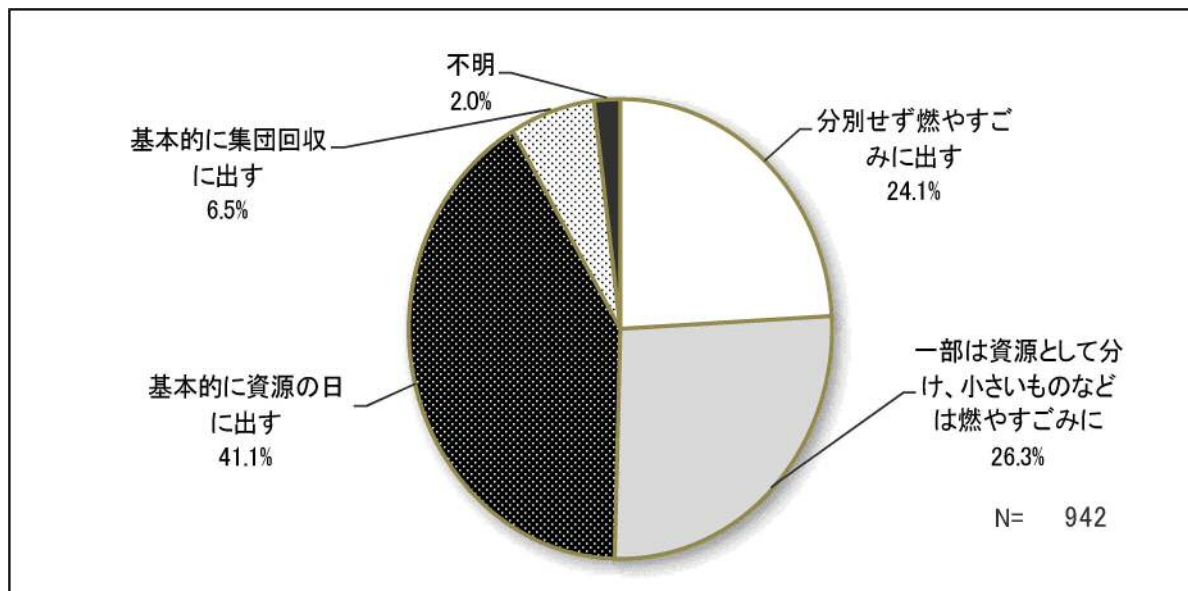
問3 「かつしかルール」をご存知ですか。(○は1つ) (有効回答数 942)



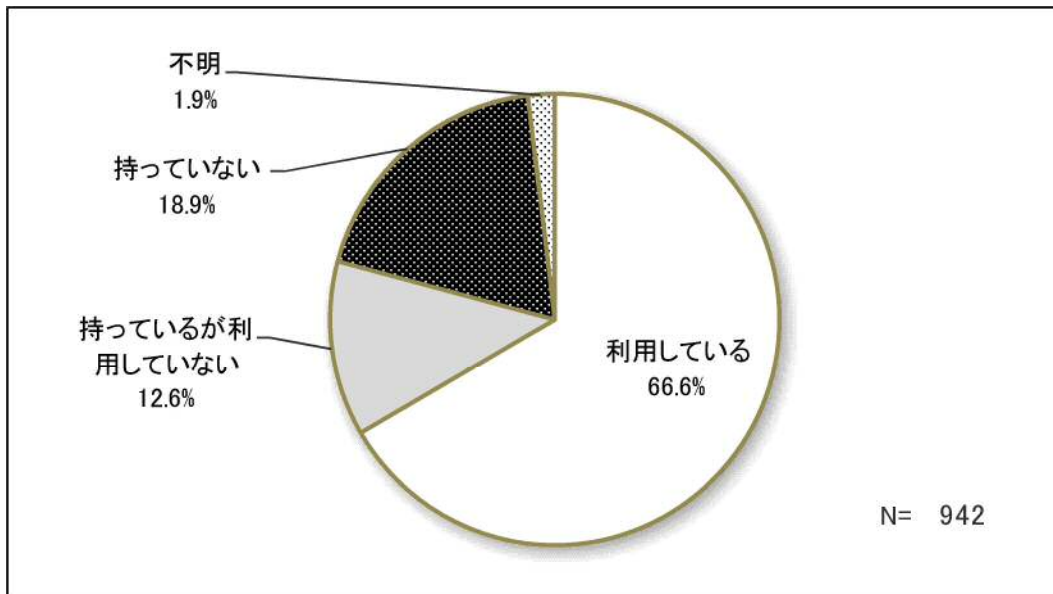


問4 紙箱・紙袋・包装紙、コピー用紙などの雑紙（ざつがみ）についてお聞きします。普段、雑紙の分別はどうされていますか。（〇は1つ）（有効回答数 942）

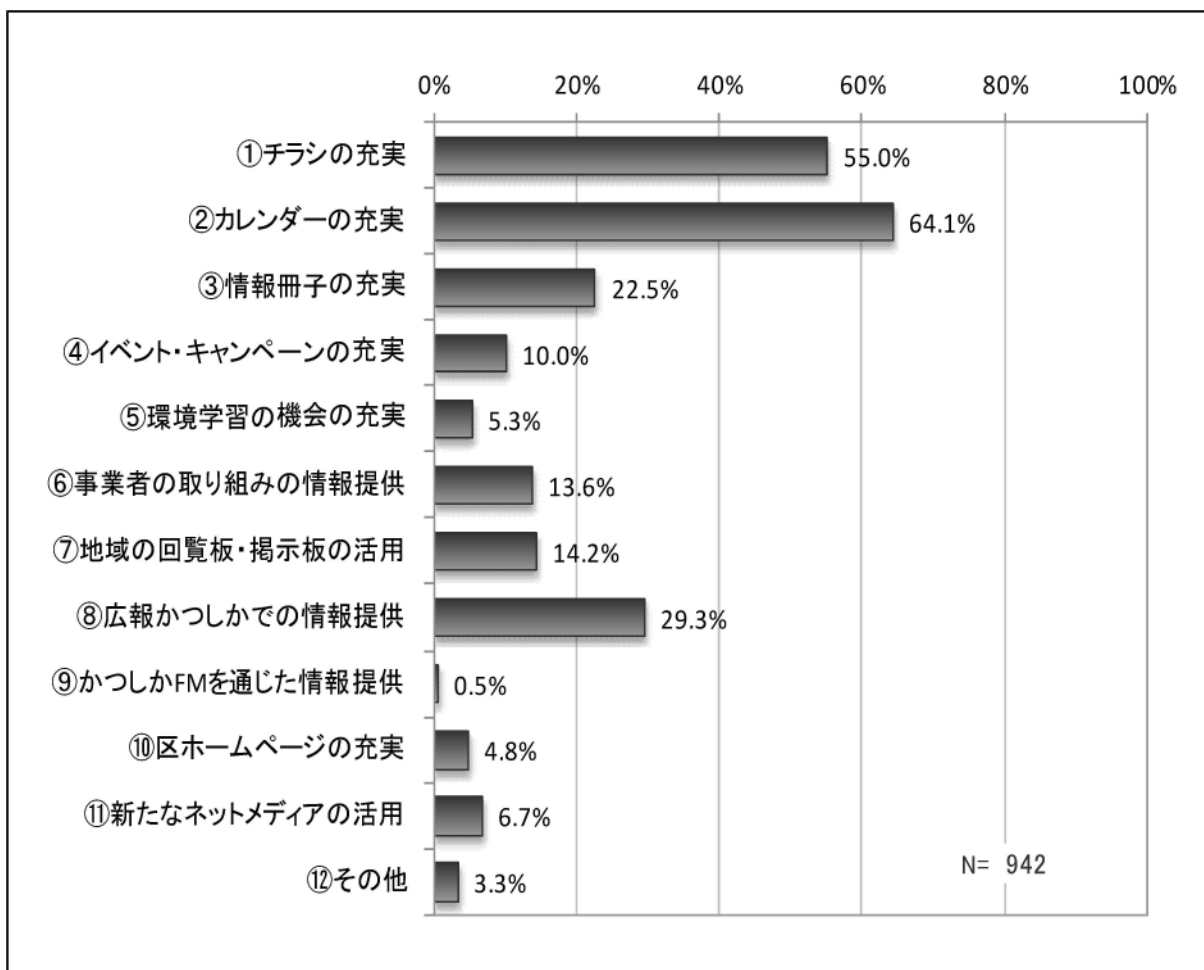
また、「燃やすごみに出している」と選んだ方は、その理由をお答えください。（有効回答数 475）



問5 スーパーや商店での買い物の際マイバッグを利用していますか。(○は1つ)(有効回答数 942)

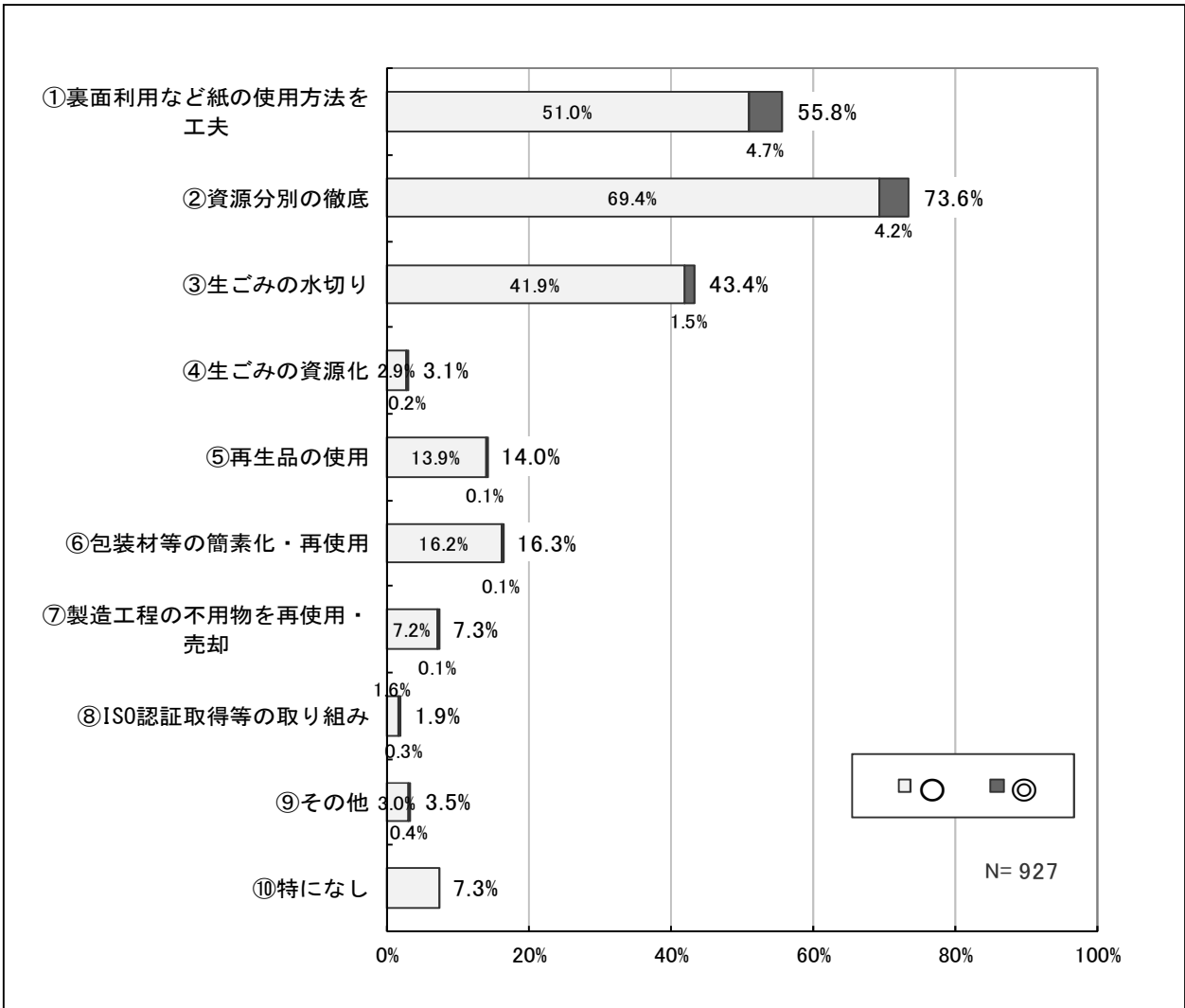


問6 今後、区のごみ減量に関する情報提供・PR活動にどんなことを望みますか。(○は3つまで)(有効回答数 942)

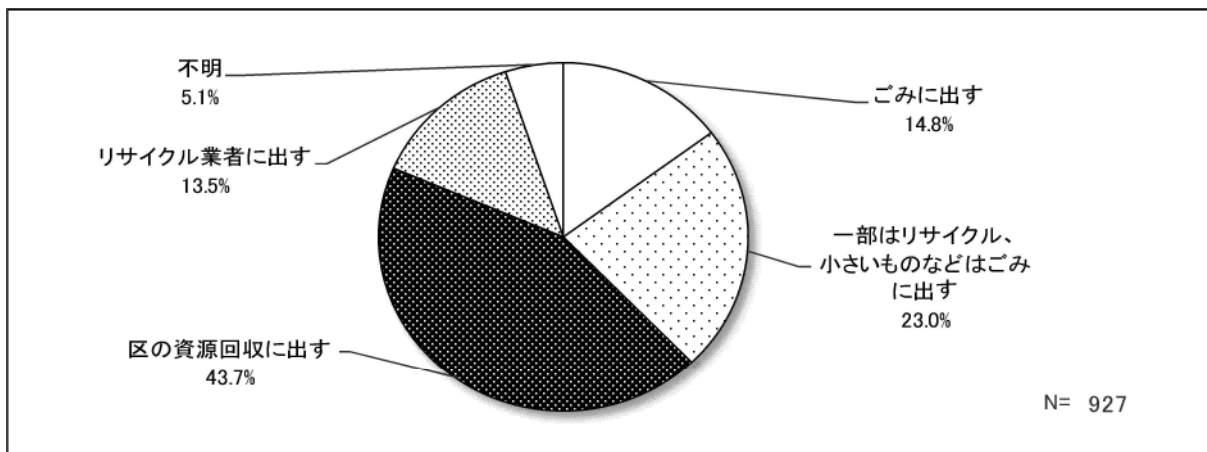


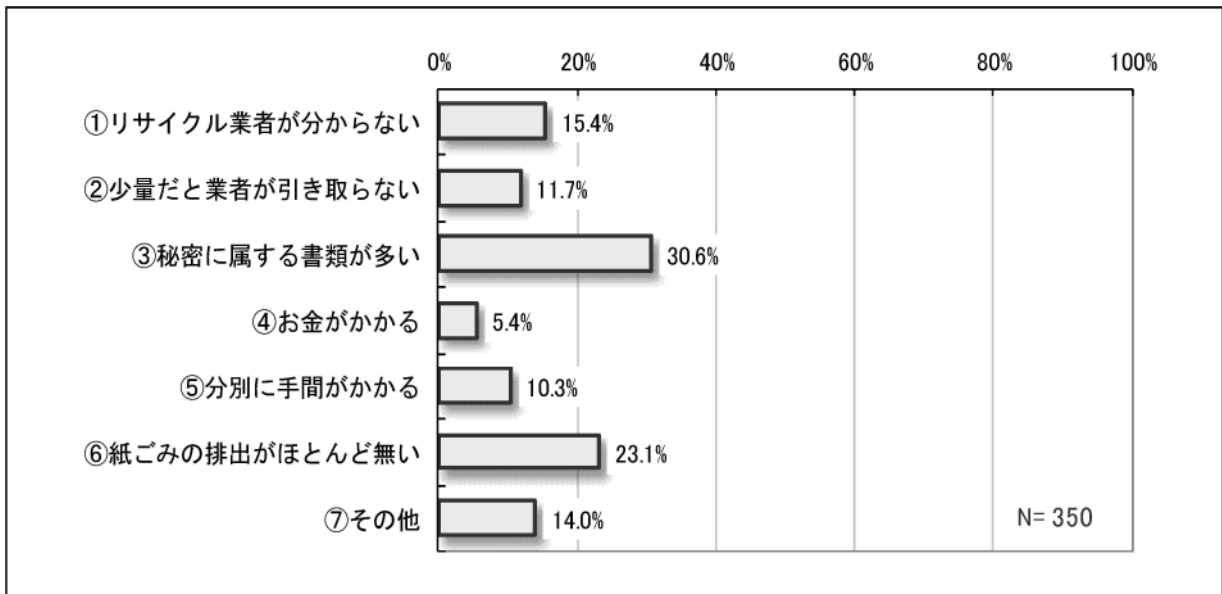
### ③ ごみ減量・リサイクルに関わる事業者アンケート（一部抜粋）

問1 貴事業所で実施しているごみ減量の取り組みに○を付けてください。（○はいくつでも）  
 その中で、十分にごみ減量の効果が上がっているものには◎をつけてください。（有効回答数 927）

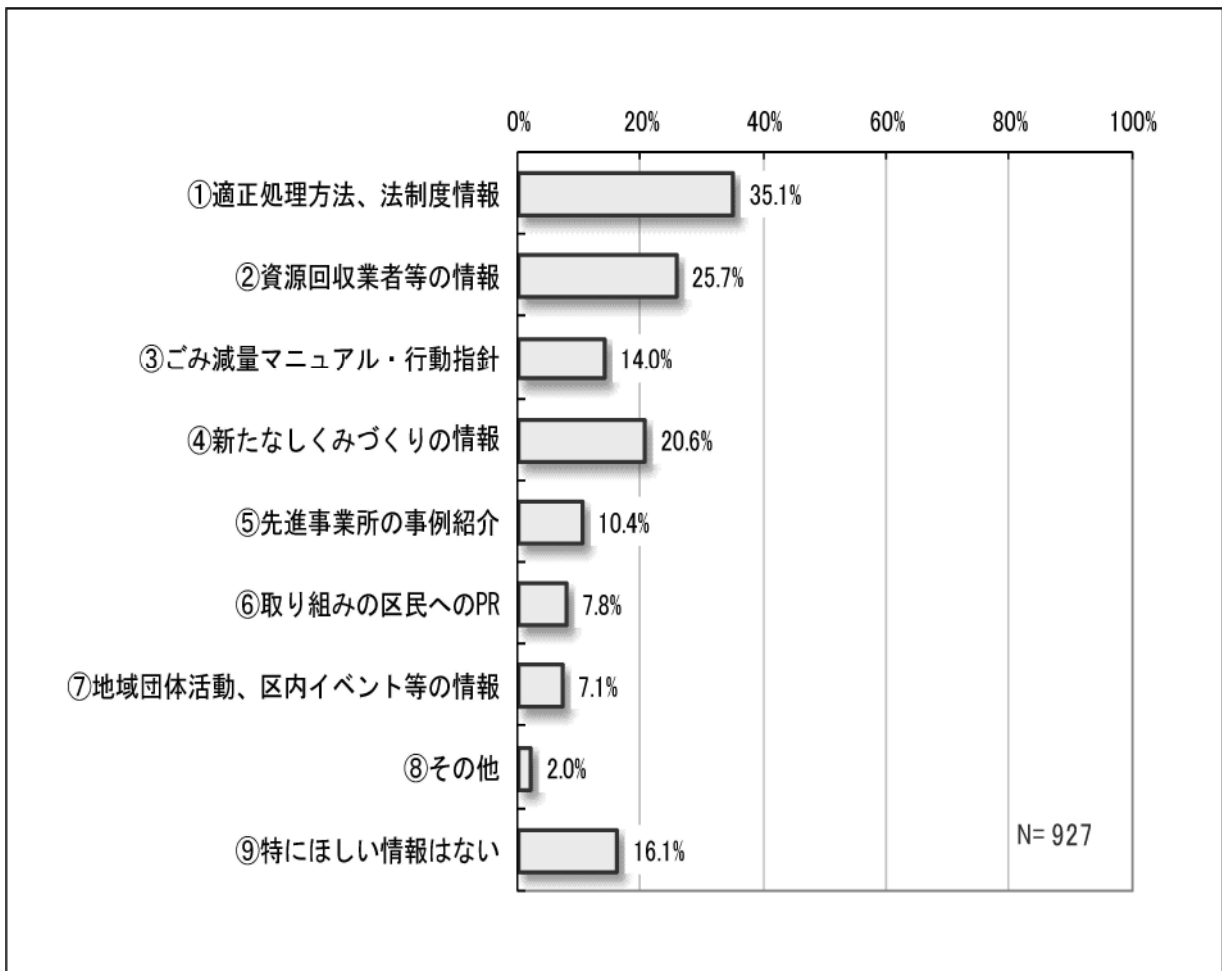


問2 新聞、雑誌、段ボール、紙箱・紙袋、包装紙、コピー用紙などの紙ごみについてお聞きます。普段、紙ごみの分別はどうされていますか。（○は1つ）（有効回答数 927）また、「ごみに出す」を選んだ場合は、その理由をお答えください。（有効回答数 350）





問3 今後、区のごみ減量に関する情報提供・PR活動にどんなことを望みますか。(〇は3つまで) (有効回答数 927)



## 2 調査等の結果を踏まえた現状の分析

### 葛飾区のごみ減量目標値と実績からわかること(P1~P2参照)

- ・区民・事業者の取組により、家庭ごみ量、ごみと資源の総排出量とも減少傾向である。
- ・家庭ごみは26年度の目標値を達成する見込みである。

### 燃やすごみの排出状況(ごみ性状調査)からわかること(P3参照)

・紙類やプラマークをできるだけ「資源」や「プラマーク」の日に排出できるように分別徹底していくことや、「燃やすごみ」の多くを占める生ごみの減量をすることにより、より一層のごみ減量を実現できる。

### 各種調査からみる区民の意識からわかること(P4~P12参照)

●ごみ減量のために一番大切なこと(3Rの意識・取組みについて)

**ポイント①** 「リデュース(発生抑制)」、「リユース(再使用)」の重要性が、まだ十分に認識されていない状況にある。

**ポイント②** 男女別では男性が、年齢別では若年層が、より一層のごみ減量行動の啓発が必要であるといえる。

**ポイント③** 事業者については、意識的に「リサイクル」に取り組んでいることがわかる。しかし「包装材等の簡素化・再使用」や「製造工程の不要物の再使用」、「再生品の使用」など「リデュース」や「リユース」の取組みについては1割~2割程度にとどまっている。

●かつしかルールの認知度

キャンペーンといったごみ減量啓発イベントに参加される方には浸透してきている一方で、区民全体にはまだまだ認知されていない状況にある。

●雑紙の分別の取組みについて

「雑紙とはどういうもので、どういう風に資源に出せばよいのか」ということをわかりやすく啓発していくことが必要である。中でも20代~30代の方への意識づけが重要であるといえる。

事業者については、燃やすごみとして出している数も多くいるようで、その理由としては「秘密に属する書類が多いから」「リサイクル業者がわからないから」といったものが多い状況にある。

●生ごみの減量の取組みについて

生ごみの減量に対して「水切り」や「食べ切り」に関して6割~7割の区民が取り組んでいる。しかし「野菜の皮などを工夫して調理する」といった「使い切り」や「生ごみ処理機などの家庭処理」など、一歩踏み込んだ減量方法の実践については1割~3割程度であり、今後は「手軽にできて効果が実感できるような手法」が求められている。

●マイバッグの利用について

マイバッグの利用について男女差が大きいことがわかる。今後はいかに男性のマイバッグ利用を呼び掛けていくか検討していく必要がある。

●今後区に望む情報提供やPR活動について

紙媒体での情報提供が根強い状況にある。一方で20代以下の若年層に対しては、他の世代に比べて「新たなネットメディアの活用」や「イベント・キャンペーンの充実」が期待されていることがわかる。

事業者については、「適正処理の方法や法制度」、「資源回収業者等の情報」など、「資源を正しく分別するための方法や仕組みをわかりやすく提供すること」が求められている。

特に意見・質問なし

### 3 ごみ減量の取組に向けた課題

#### (1) 再生利用から発生抑制への意識転換

区民・事業者の取組により、家庭ごみ・事業系ごみは着実に減少し、資源量も増加しています。一方で区民の意識調査からもわかるように、「資源を分別し、ごみとして出さない」という「再生利用」の取組みをしている区民の割合が最も多く、「発生抑制」や「再使用」の重要性はまだ十分に認識されていない状況にあります。今後より一層のごみ減量を実現するためには、第一に「発生抑制」、次に「再使用」、最後に「再生利用」といった優先順位を意識した3R行動の促進を普及啓発し、実践につなげていくことが不可欠です。そこで「必要な量を買うこと」や「余計な包装を断る」といった「発生抑制」の行動を今まで以上にPRしていくことが大切です。

#### (2) 具体的でわかりやすい、手軽に実践してもらえる取組みの周知

ごみ減量の取組を普及啓発し、実践につなげていくためには、より具体的な手法を分かりやすく啓発していく必要があります。「かつしかルール」の呼びかけや「ごみ減量の日」の取組などを通じ、「雑紙の分別」「食材の食べ切り・使い切り」「マイバッグの利用」など、その日から手軽に取り組めるような事を、分かりやすく情報発信していくことが重要となります。

#### (3) 様々な機会や媒体での情報発信とターゲットに応じた働きかけ

チラシやカレンダー、広報かつしか等の充実を図るとともに、地域での環境学習（出前講座）やイベントでの周知など、様々な媒体・機会を繰り返し啓発をしていくことで、より多くの方々に広く情報を提供することができます。

その一方で、性別や年齢に応じて必要な情報や取り組むべき課題が分かれている状況があります。区内大学との連携を図り、ごみ出しの初心者とも言える若年層に向けた情報の発信方法を検討することや、男性の買い物やごみ出しなどに関する講座やイベントを企画することなど、今後はターゲットに応じた働きかけが求められています。

#### 委員からの意見

＜委員＞ 残ったカレーをドリアに活用するというような「食べ切り」「使い切り」のレシピを情報紙に載せてPRするのはどうか。

➤ ＜区＞ 「食べ切り」「使い切り」については、東京聖栄大学（新小岩）へ依頼し、メニュー作りなどを協力してもらえれば、もっと踏み込んだものができると考えている。東京聖栄大学への協力依頼を、推進協議会で、ぜひ検討していきたい。

＜委員＞ 雑紙の分別が難しい。区民もわからない方が多数いるのではないか。分別をわかりやすく周知することに対して、区はどのような対策をとっているか。

➤ ＜区＞ 燃やすごみの中に雑紙が多く含まれている実態を踏まえて、平成23年度よりチラシ、地域での研修会、HP、広報かつしか等で啓発活動をし

てきているが、認知度が低い。読んでいる方は知っているが、知ろうとしないし、わからないままでいいという方もいる。そういう方々を啓発していくことが課題だと考えている。

<委員> 小中学校に出張して、講習を開いてもらうのがよい。授業時間に枠を取るのが難しいようであれば、PTAと連携して行うのはどうか。

> <区> 小中学校の生徒を通じて、保護者も啓発していくことは非常に効果的であると思う。清掃事務所とリサイクル清掃課が協力して、希望のある小学校の4年生を対象に環境学習を行っているが、全学校では実施していない。今後はさらに積極的に働きかけていきたい。また、PTAと連携した講習については、土日でも夜間でも、いつでも行く準備が来ている。

<委員> 事業者が排出する紙ごみはかなり多い。多いところから削減していくのがよいのではないか。また、紙類をごみに出すと答えた事業者は、理由に「秘密に属する書類が多い」（30.6%）ことを挙げている。その30.6%がどのように処理されているかがわかれば対策方法があるのではないか。

> <区> 事業者のごみは半分が紙であり、事業者の雑紙を資源化できれば、東京のごみは一気に減る。しかし実際は23区が別々で取組みを行っている現状があり、減量が難しい。後日実施する事業者活動部会での話し合いなどをもとに、事業者の紙ごみについても何らかの対策を考えないといけないと考えている。なお、事業者の「秘密に属する書類」の処分方法は、委託による完全溶解や清掃工場への直接持込による焼却、もしくはシュレッダーでの裁断が一般的である。

<委員> これまでの取組みで、簡単にごみ減量ができたこと、やっても効果がなかなか得られなかった事があれば聞きたい。

> <区> 平成20年にサーマルリサイクルによりプラスチックを、燃やさないごみから燃やすごみへ分別変更した時に、ごみ量が急激に減った。一方で、啓発活動だけではごみが大きく減ることはない現状がある。しかし、推進協議会でも啓発しているマイバック持参運動も徐々に国民全体に浸透してきた。葛飾区のごみ量も右肩下がりで減っている。地道な普及啓発活動では大きな成果は出ないが、継続していくことが大切である。

<委員> 分別された資源を拾い歩く専門の業者の行動について、どう考えているか。

持ち去りによる資源を引き受ける「企業」に対して圧力をかけたらどうか。

> <区> 資源の持ち去りについては、条例による罰則や料金のほか、早朝などにパトロールを実施し、警告を行っている。また、古紙に関してはGPS装置を区で導入し、古紙団体、製紙団体連合とで協働して業者の方を取り締まる取り組みをする。これは、GPSで追跡調査をし、引き受けた業者をHP等で公表し、契約をおこなわないなどの対策を取るものである。

## 4 かつしかルールについて

### (1) かつしかルールについて

「葛飾でごみを減量するためには、これだけを実践しましょう」という取組を「かつしかルール」と位置付け、区民・事業者に対し、広く実践を呼び掛けています。テーマについては、その時々の課題にかんがみ、検討を行っています。

### (2) 取組みの経過

取組みの経過	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
一般廃棄物処理基本計画	★策定	H23～スタート					★見直し	H28～スタート				
ごみ性状調査			★実施		★実施			★実施(予定)				
1人1日あたりのごみ量の目標値と実績		548g	547g	533g	521g	510g	498g	486g			450g	
かつしかルールのテーマ		雑紙	雑紙	生ごみ 雑紙	生ごみ 雑紙	(案) 生ごみ 雑紙	→ 一般廃棄物処理基本計画見直しに基づく検討					
内容		雑紙分別	雑紙分別	水きり 雑紙分別	食べ切り 使い切り 雑紙分別	水切り 食べ切り 使い切り 雑紙分別						

### (3) 27年度 of 取組について

葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）では、平成32年までに区民1人1日あたりの家庭ごみ量を450gまで削減することを目標にしています。

このため、平成27年度のかつしかルールの設定にあたっては、引き続き生ごみの減量や雑紙の分別など、より削減効果の高いものから優先的に取り組む必要があります。

平成27年度のかつしかルール（案）  
 生ごみの減量に取り組む  
 雑紙を徹底して分別し、資源にする



平成27年度のかつしかルールについては、事務局提案の「生ごみの減量に取り組む」、「雑紙を徹底して分別し、資源にする」を引き続き呼びかけていくことが了承された。

**若者世代への啓発方法についての委員からの意見**

＜委員＞ 浸透の弱い20代・30代に対する啓発として、キャラクターを活用したLINEスタンプなどによる啓発をおこなえば、その下の世代にも効いてくると思う。将来的に今の子供達の分別の意識の高さが有効になるのではないか。

➤ ＜区＞ 若者世代をターゲットに、SNSなどのネットメディアの活用、商店街連合会と協働で食べ歩きにごみ減量普及啓発をからめるなどの取組みができればと考えている。聖栄大学の学生など、区内の大学生の意見を取り入れながら行っていきたい。

## 5 ごみ減量の日取組について

毎月5日の「ごみ減量の日」には、各団体における活動を推進し、葛飾区全域で活動を行うことにより効果的なPRを行っていきます。

※平成27年4月から9月までの取組内容（区民向け）の提案（例）

生ごみの減量・食べ切りを呼び掛ける提案	食べ物を無駄なく食べ切りましょう。
雑紙の分別や紙ごみの減量を呼び掛ける提案	小さなちらしなどは紙袋にまとめて、資源の日に出しましょう。

平成27年4月から9月までのごみ減量の日取組内容（区民向け）については、2案のうち、生ごみの減量・食べ切りを呼びかける「食べ物を無駄なく食べ切りましょう」を採用することが多数決で了承された。

### 普及啓発方法についての委員からの意見

- 食べ切りのレシピによる啓発をぜひ行ってもらいたい。
  - 媒体が紙だと若者に響かないため、レシピサイトを活用して、食べ切りメニューを投稿してもらおう取組みはどうか。
  - 使い切りの実践のチラシを町会回覧だけでなく、各戸配布できないか。
  - 回覧や各戸配布などの紙媒体は、一過性である。ホームページに情報を載せるのはどうか。
- ※ 委員からの意見は、推進協議会で検討していくことが確認された。

## 6 26年度の取組（報告）

### （1）ごみ減量月間の取組結果について

#### ①街頭キャンペーンの実施

身近にごみの発生抑制に取り組むことができるマイバッグ持参キャンペーンを、13会場（下記参照）にて実施しました。会場ではごみの減量に関するアンケートの実施と協力いただいた方にマイバッグ(買い物袋)の配布を行い、併せて、今年度の「かつしかルール」である生ごみの減量・雑紙の分別についてのちらしでPRを行い、ごみの減量を呼びかけました。

\*アンケート協力者数 2,328名

\*実施地区・日時・会場

地区	日時	会場
堀切	9月29日(月) 午後4時～	堀切菖蒲園駅前(堀切商店連合会)
新小岩	10月 4日(土) 午後2時～	西友新小岩店
金町	10月 4日(土) 午後5時～	末広商店会
四つ木	10月 5日(日) 午後1時30分～	まいろーど四つ木商店街 (雨天のため中止)
金町	10月 5日(日) 午後4時～	金町しょうぶ通り商店会 (雨天のため中止)
金町	10月 9日(木) 午後3時～	金町とうきゅう
亀有	10月15日(水) 午後4時～	イトーヨーカドー亀有駅前店
鎌倉	10月18日(土) 午前11時～	千代田通商店会
新小岩	10月18日(土) 午後3時～	みのり商店会
柴又	10月19日(日) 午後3時～	新柴又駅前(柴又中央会・柴又親商会)
亀有	10月25日(土) 午後3時～	かめありリリオパーク入口 (亀有地区町会自治会連合会・亀有地区商店街協議会)
お花茶屋	10月25日(土) 午後3時～	お花茶屋商店街
水元	10月26日(日) 午前10時～	葛飾清掃工場(ごみ減量・清掃フェア)
高砂	10月26日(日) 正午～	区立高砂北公園 (高砂商店会・高砂卫ビス通り商店会・高砂南町商友会)
立石	10月31日(金) 午後3時～	立石仲見世商店街

## ②ごみ減量月間協力団体・事業者

団体	内容
葛飾区自治町会連合会	キャンペーンの従事
葛飾清掃協力会	キャンペーンの従事・マイバッグに関する事前アンケート調査への協力
葛飾東清掃協力会	キャンペーンの従事・マイバッグに関する事前アンケート調査への協力
葛飾区消費者団体連合会	キャンペーンの従事・マイバッグに関する事前アンケート調査への協力
葛飾区商店街連合会	街頭キャンペーン会場の提供 ポスター掲示・街頭放送、ちらしによるPR
イトーヨーカドー亀有駅前店	街頭キャンペーン会場の提供 ポスター掲示・店内放送
金町とうきゅう	
西友新小岩店	
森永乳業株式会社	みのり商店会街頭キャンペーン参加者へのパック飲料の提供
かつしかエフエム	PR放送

以上の団体以外の皆さんからも、ポスターの掲示や店頭放送等のご協力をいただきました。また、日本大学学生や3R推進パートナーの皆さんに各会場においてアンケート収集やバッグの配布にご協力をいただきました。

## ③ごみ減量キャンペーンにおける区の実績結果

- \* 「広報かつしか」9月15日号やホームページを通じたPR
- \* PRポスターの作成、掲示、配布
- \* キャンペーン物品の用意、職員の配置、その他各種準備・調整

## (2)「かつしかルール」の実績状況について

平成26年度は、前年度に引き続き、「雑紙を徹底して分別し、資源にする」および「生ごみの減量」を個別ルールとし、取り組みをおこなった。

『雑紙（ざつがみ）を徹底して分別し、資源にする』  
『生ごみの減量に取り組む』

### ①平成26年度の取り組み状況

#### (ア) 広報紙での周知（9月15日号）

広報紙において、生ごみの減量のための「水切り・食べ切り・使い切り」についてPRを行った。

#### (イ) 町会回覧での周知（10月実施、平成27年3月予定）

自治町会連合会の町会回覧向けに、「食べ残しをしないようにしましょう」という視点から、生ごみ減量の必要性について説明をしたちらしを作成し回覧を行った。

(ウ) 小売店・事業所などでの周知（11月実施、平成27年3月予定）

葛飾区商店街連合会、東京商工会議所葛飾支部で紙類のリサイクルや不要な包装を断ることについての啓発ちらしを会員事業者に配布した。

(エ) ごみ減量キャンペーンでの周知（9～10月実施）

ごみ減量キャンペーンでアンケートに雑紙の分別や生ごみの減量に対する意識調査の項目を入れた。また、マイバッグの配布と併せ雑紙の分別および生ごみの減量に関するちらしを作成し配布を行った。

(オ) イベントでの周知

9月5日～7日に実施された産業フェアの推進協議会出展ブースにおいて、来場した区民に、食材の食べ切りや使い切りの方法を学べるクイズや雑紙の分別に関するクイズを行い、終了後解説をする形で啓発を行った。

(カ) 普及啓発グッズの配布

生ごみの減量を促進するため、イベント時に「かつしかルール」をPRした普及啓発グッズを配布した。今年度は「残さず食べよう」と印字したマイ箸セットを10月11～12日の消費生活展と10月26日のごみ減量・清掃フェアにて配布した。

(キ) かつしかFMでの周知（年3回）

かつしかFMのスポットCMで「かつしかルール」のPRをおこなった。

(ク) ごみの収集カレンダーでの周知（2月～3月ごろ配布予定）

資源とごみの収集カレンダーに「かつしかルール」についてのページを作成し、食材の使い切りの方法などのPRを行う。

### (3)「ごみ減量の日」の取組について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組むべき目標を提示し、呼びかけることにより、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っている。

#### ①平成26年度に呼びかけた取組内容

\*平成26年4月から9月までの取組内容

区民	お買い物に出かける前に、今必要な食材が何かを考えると、無駄に捨ててしまう食材を減らしましょう。
事業者（小売業）	お客様の紙ごみを減らすために、過剰な包装を見直しましょう。
事業者（事業所）	職場の紙ごみを減らすために、使用済みの資料は極力リサイクルにまわしましょう。

\*平成26年10月から平成27年3月までの取り組み内容

区民	食べ残しをしないように工夫しましょう。
事業者（小売業）	お客様にレジ袋や包装が必要かできるだけ声掛けしましょう。
事業者（事業所）	封筒やチラシなど細かい紙ごみを資源化できるよう分別を徹底しましょう。

②平成26年度「ごみ減量の日」のPRについて

(ア) 小売店向けPR (4月、11月)

葛飾区商店街連合会で、ちらしの裏面を店内に掲示できるポスター形式とし、それを掲示することにより、区民への小売店の取組の周知につながるものを年2回作成し、商店街の各店舗に配布してPRを行った。

(イ) 事業所向けPR (5月、11月)

東京商工会議所葛飾支部で、ちらしの裏面を事業所に掲示できるポスター形式のちらしを作成し、それを掲示することで、事業所内で取組を周知できるものを年2回会員にダイレクトメールで配布してPRを行った。

(ウ) ごみ減量キャンペーンでのPR

10月の「ごみ減量月間」に行うごみ減量キャンペーン時に、取組を呼びかける内容を含めたちらしの配布を行った。

(エ) その他

「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行った。

(4) かつしかエコライフプラザにおける取組について

かつしかエコライフプラザにおいて、かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会の会員である事業者には、子供を対象に3Rや環境の啓発を目的としたイベントを実施していただいた。

◆平成26年度推進協議会参加事業者を実施及び実施予定いただいているイベント

実施事業者	実施日	イベント名	実施状況
森永乳業株式会社 (東京工場)	8/23	使用済み牛乳パックによる紙すきはがき作り教室	牛乳パックのリサイクルについての説明後、水に溶かした使用済みの牛乳パックを紙すきして、はがきを作る。 (小学生と保護者対象)
株式会社杉野ゴム化学工業所	2/21 (予定)	リサイクルゴム工作	リサイクルゴムを型抜きし、好きな形の飾り付けをしたマイ消しゴムを作る。 (小学生以下対象)

## (5) マイバッグ利用促進の取組

平成26年度は昨年度に引き続き、お花茶屋商店街と千代田通商店会において、マイバッグを利用することでポイントを貯め、一定のポイントが貯まったら景品（古紙をリサイクルしたティッシュペーパー）を配布する取組を実施している。

### 【お花茶屋商店街】

- ・実施時期 平成26年10月25日（土）～平成27年3月31日（火）
- ・参加店舗 約50店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。20ポイントスタンプが貯まるとりー（Ree）ちゃんペーパー（ティッシュ）と交換
- ・実施状況 10月25日のごみ減量キャンペーンよりポイントカードの配布を開始。景品交換日は商店街のイベントと合わせて実施予定。
- ・主な聞き取り内容
  - ・事業開始当初に比べて、マイバッグを利用している区民は増えているように感じる。また「シールだけでもよい」といった声や、「生鮮食品でも最低限の袋だけでもよい」といった声がお客様の方から上がってくることも多くなった印象。
  - ・さらに多くの方にマイバッグを利用してもらうには、今後それぞれのお店ごとのより一層の働きかけが必要になってくると感じている。

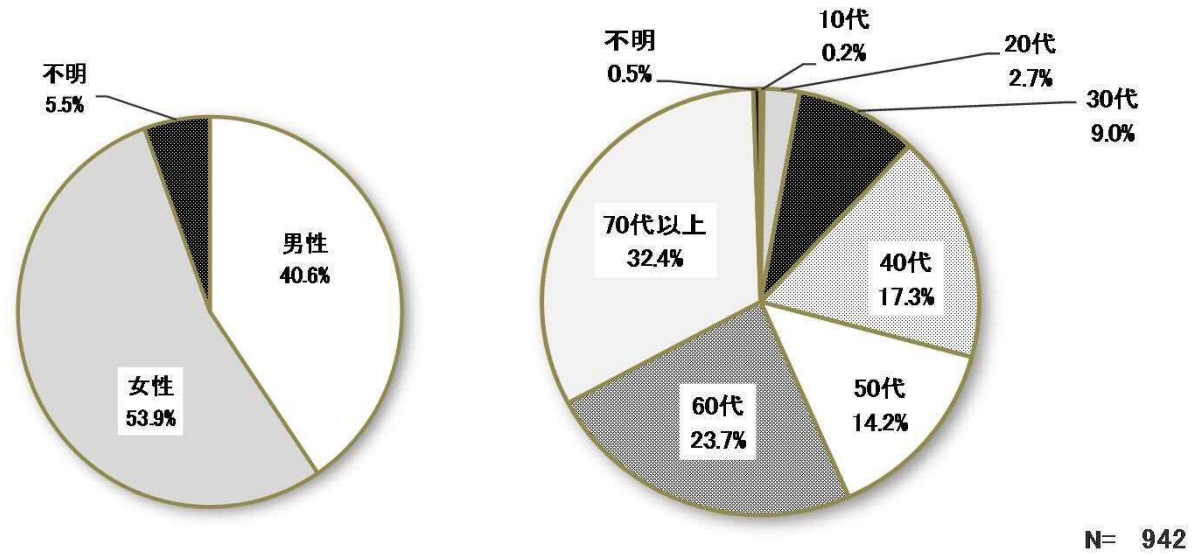
### 【千代田通商店会】

- ・実施時期 平成26年10月18日（土）～平成27年3月31日（火）
- ・参加店舗 約30店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まるとりー（Ree）ちゃんペーパー（ティッシュ）と交換
- ・実施状況 10月18日のごみ減量キャンペーンよりポイントカードの配布を開始。景品交換日は商店街のイベントと合わせて実施予定。
- ・主な聞き取り内容
  - ・事業開始当初に比べて、スタンプカードの引渡数は増えている。しかし利用者が偏っている傾向にあること、制度実施期間に限ってマイバッグを利用する方が多いように感じることなど、事業の成果が不十分な部分もあるような印象。
  - ・上記のような状況に対しては、制度実施期間に限らずとも、より多くの方に包装を断り、マイバッグを利用してもらえるような仕組みづくりを検討していく必要があると感じている。

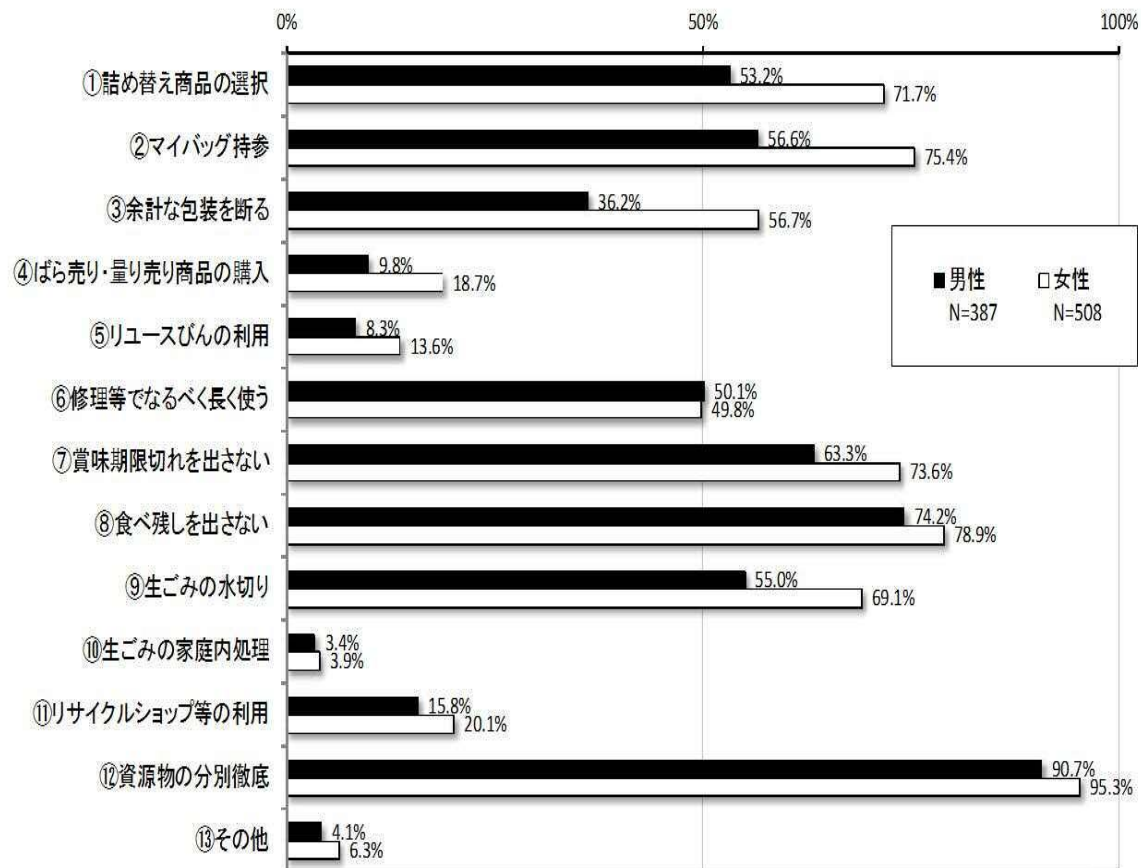
特に意見・質問なし

参考資料1

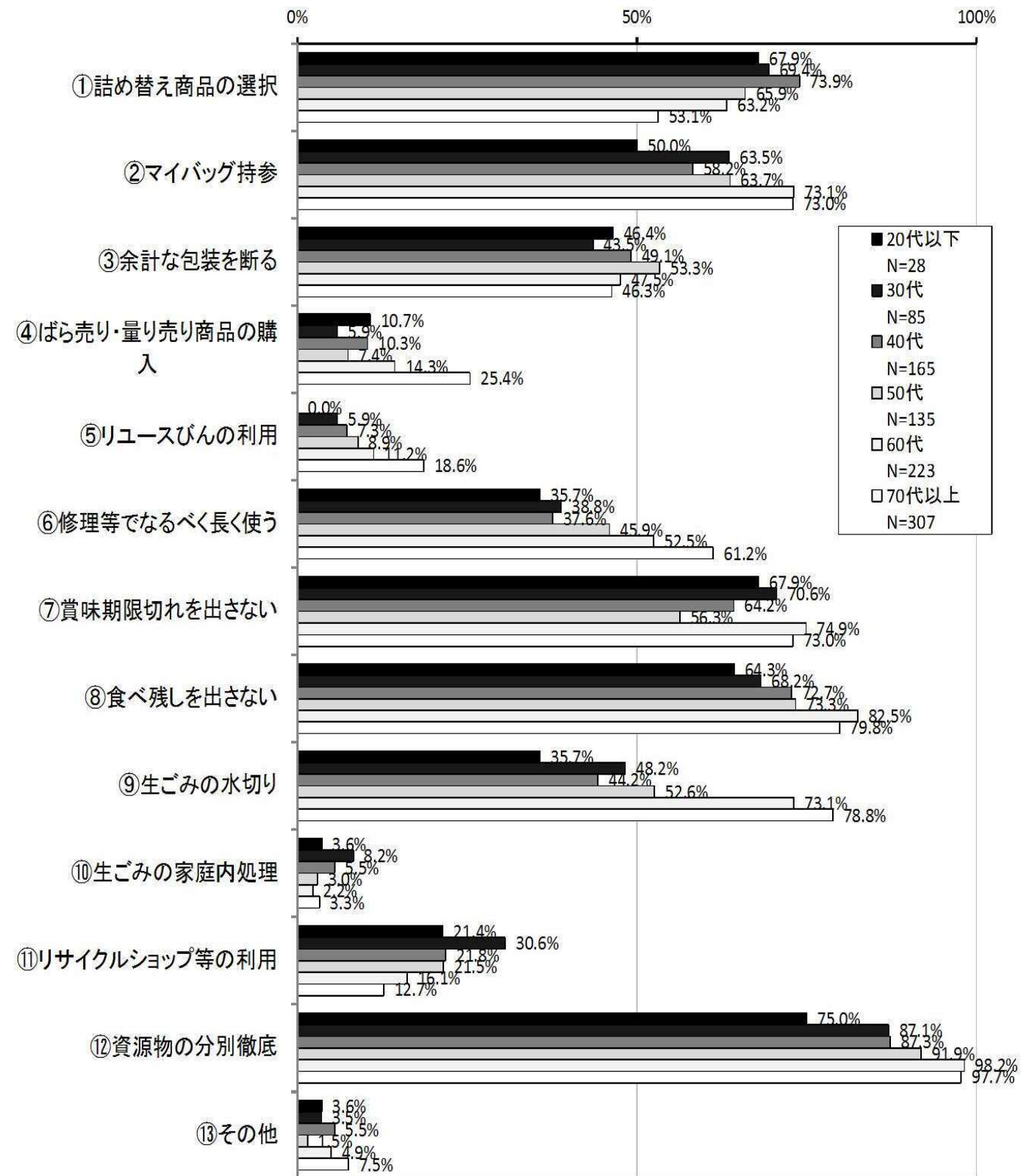
資料(1) 「区民アンケート」の男女別・年齢別割合



資料(2) 「区民アンケート」問2:あなたが、日頃ごみ減量のためにやっていることに○を付けてください。男女別回答割合

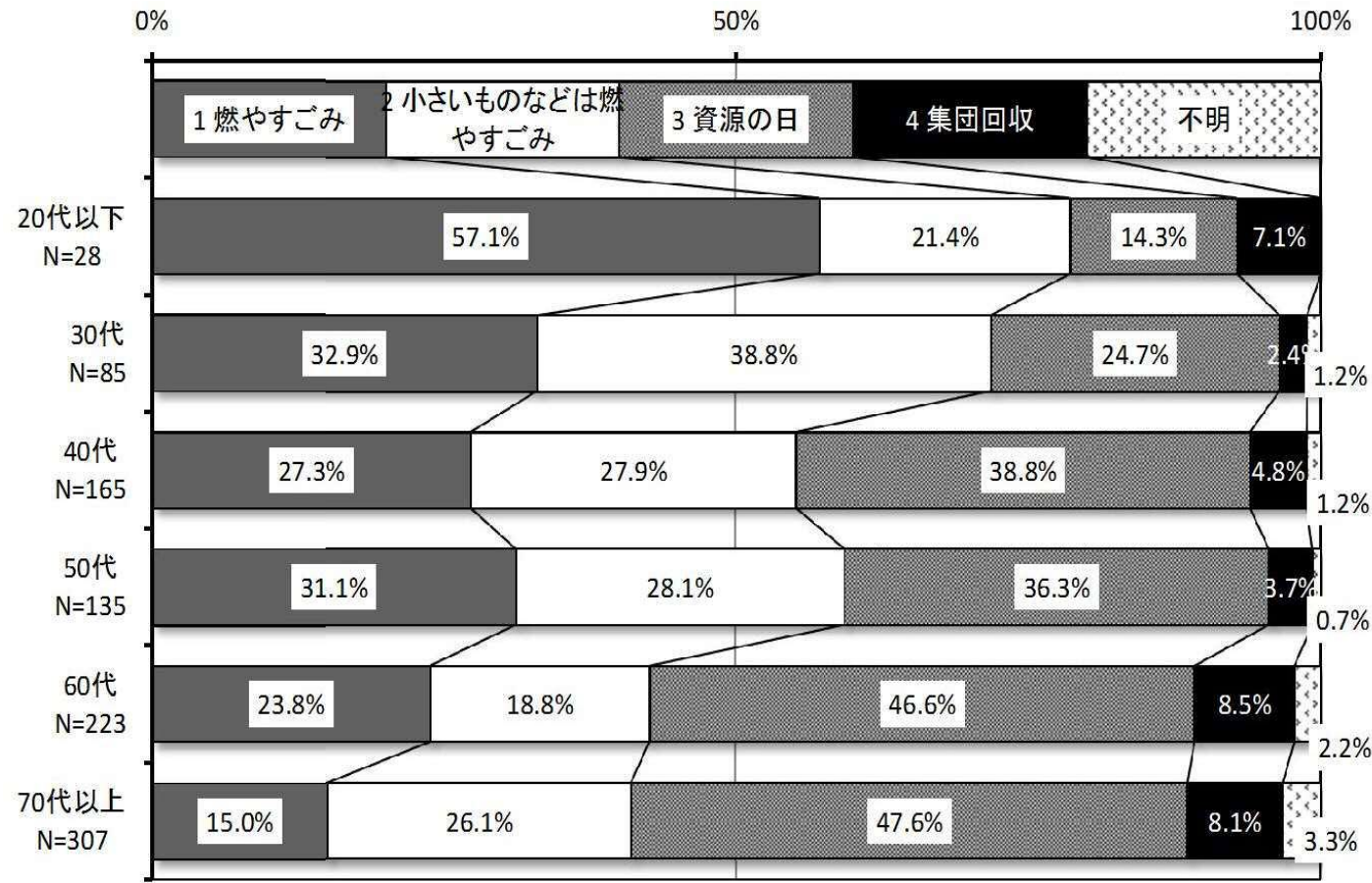


資料(3) 「区民アンケート」問2:あなたが、日頃ごみ減量のためにやっていることに○を付けてください。年齢別回答割合

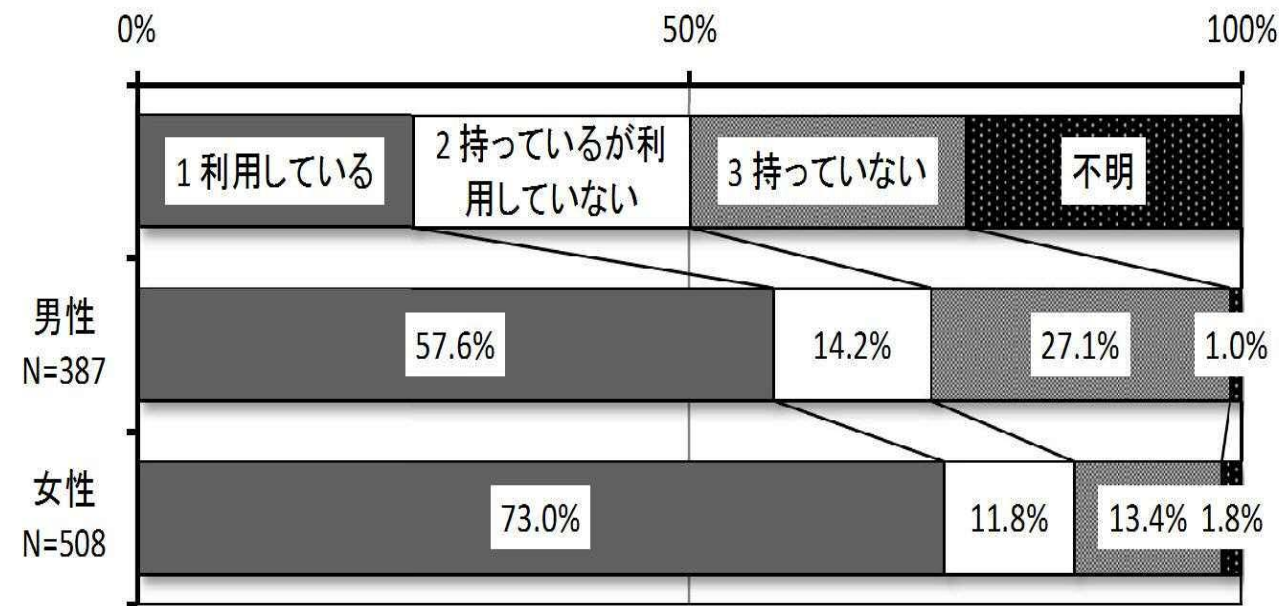




資料(4) 「区民アンケート」問4:紙箱・紙袋・包装紙、コピー用紙などの雑紙(ざつがみ)についてお聞きます。普段、雑紙の分別はどうされていますか。年齢別回答割合



資料(5) 「区民アンケート」問5:スーパーや商店での買い物の際マイバッグを利用していますか。男女別回答割合



資料(6) 「区民アンケート」問6:今後、区のごみ減量に関する情報提供・PR活動にどんなことを望みますか。年齢別回答割合

